

分担研究報告書 (平成 30 年度)

ICD-11 に関する情報提供

研究分担者	水島 洋	国立保健医療科学院
	佐藤 洋子	防衛医科大学校
	緒方 裕光	女子栄養大学・生物統計学
	上野 悟	国立保健医療科学院
	木村 映善	国立保健医療科学院

研究要旨

WHO 国際統計分類第 11 版 (ICD-11) の普及においては、ICD-11 に関する情報を広く提供する必要がある。そのため、国立保健医療科学院で編纂している保健医療科学において、ICD-11 の特集号を企画し、各分野の関係者に執筆を依頼し、編集・発行した。また、WHO の ICD サイトのように、関連する情報を集めたポータルサイトの構築が重要となる。そこで、国立保健医療科学院において、ICD-11 に関する情報を集めた仮ポータルサイト (<https://icd.niph.go.jp/>) を構築し、公開した。

A. 研究目的

WHO 国際統計分類第 11 版 (ICD-11) の機能的な特徴として、情報学的に新しい考え方が導入されていることがある。本稿では情報学的な特徴に関して解説するとともに、ICD-11 を扱うために開発されている様々なツールの紹介をすることによって、ICD-11 の今後の新しい利用形態について展望する。

B. 研究方法

1. 保健医療科学における特集記事の編集 (図 1)

WHO-FIC ネットワーク年次会議 2016 (東京開催、2016 年 10 月 8 日-12 日)、同 2017 (メキシコ国開催、2017 年 10 月 16 日-21 日)、同 2018 (大韓民国開催、2018 年 10 月 22 日-27 日) において報告された、ICD-11 フィールドトライ

アルに関する研究発表 (ポスター発表) の内容を調査した。

2. ICD に関するポータルサイトの構築

現在、ICD-11 に関する国際的な情報は、WHO のサイト[7]にあつまっているものの、日本国内の情報については、散逸している状況である。また、URL などがまだ安定して決まっておらず、随時変更されている。そこで、国立保健医療科学院では、ICD-11 国内導入にむけた関連情報を集積した仮ポータルサイト[8]を構築している。厚生労働省の関連情報へのリンクや、WHO の関連情報の翻訳など、ICD-11 に関する最新の情報が得られるように、つねに更新してく予定である。(図 2) 本稿においても、記載の URL が変更になっている場合があるが、その場合にはこのサイトにアクセスして最新の情報を得

てほしい。なお、今後、スマートフォンやタブレットによる利用が増大することを考え、表示が端末によって最適化されるように、サイトはレスポンス形式で作られている。

(倫理面への配慮)

倫理面で考慮する必要のある情報は扱っていない

## C. 研究結果

### 1. 保健医療科学における特集記事の発行

保健医療科学 第67巻 第5号(2018年12月)として、「WHO 国際疾病分類第11回改訂(ICD-11)およびICF、ICHIの導入に向けて。」という特集号を発行した。構成は下記のとおりである。

巻頭言：WHO 国際疾病分類第11回改訂(ICD-11)およびICF、ICHIの導入に向けて  
水島洋 Page 433

#### 特集

WHO 国際統計分類の歴史とICD-11の国内適用に向けて  
森桂、及川恵美子、阿部幸喜、中山佳保里 Page 434-442

内科領域へのICD-11の導入：糖尿病関連領域を例として  
安田和基 Page 443-451

筋骨格系領域におけるICD-11改訂の意義  
加藤真介 Page 452-454

精神神経科領域におけるICD改訂の意義  
松本ちひろ Page 455-458

眼科領域におけるICD-11活用—眼科領域におけるICD-11改訂の意義に関しての解説—  
柏井聡 Page 459-463

消化器分野でのICD-11構築の経緯とわが国への適用に向けた課題

秋山純一、石川智久、富谷智明、名越澄子、三輪洋人、三浦総一郎、菅野健太郎 Page 464-470

東洋医学におけるICD-11活用  
渡辺賢治 Page 471-479

国際生活機能分類(ICF)をめぐる状況と活用に向けた展望

大塚賀政昭 Page 480-490

診療情報管理におけるICD-11改訂の普及について

横堀由喜子 Page 491-498

医療行為の国際分類(ICHI)の動向について  
川瀬弘一 Page 499-507

ICD-11 フィールドトライアルについて  
佐藤洋子、水島洋 Page 508-517

ICD-11の情報学的な意味  
水島洋、佐藤洋子 Page 518-522

### 2. ICDに関するポータルサイトの構築

ICD-11に関する情報を集約することは、分散しているICD-11に関する情報へのアクセスを容易にするとともに、ICD-11の普及啓発効果も絶大である。そのため、ICD-11に関するポータルサイトを、国立保健医療科学院内に構築した。

トップページは図2のとおりであり、これは、WHOの了解のもと、WHOのICDポータルサイトの構造をそのまま翻訳し、日本独自の情報を追加して作成した。

昨今のスマホやタブレットでの閲覧の需要を鑑み、レスポンスデザイン対応として、見やすさの工夫を行った。

今後、本報告書のデータなども含め、随時 ICD-11 に関する情報の収集普及に努めていく。

#### D. 考察

ICD-11 はゲーム依存症などの一部分のみの報道が先行し、ICD-11 の本質的な情報が不足している。そこで我々は、国立保健医療科学院で発行している「保健医療科学」において、ICD-11、ICF、ICHI に関する特集号を編集することを企画し、各分野の ICD-11 関連の専門家に執筆を依頼しとりまとめて発行したことは、我が国における ICD-11 に関する初めての網羅的な書籍として位置づけられるだろう。

また、ICD-11 に関する情報を集約したポータルサイトを構築したことによって、ICD-11 に関する情報を求める際に参照すべきサイトとして、今後認知度を上げることが可能となる。

#### E. 結論

ICD-11 に関する情報を普及するにあたって、初めての網羅的な書籍となるものを、「保健医療科学」の特集号として出版した。

また、ICD-11 に関する情報を集約したポータルサイトを構築した。

#### F. 健康危険情報

なし

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

保健医療の情報化に関する現状と課題 水島洋. 保健医療科学 67(2) 144-149 2018 年

ICD-11 フィールドトライアルについて. 佐藤洋子、水島洋. 保健医療科学 67(5) 508-517 2018 年

ICD-11 の情報学的な意味 水島洋、佐藤洋子. 保健医療科学 67(5) 518-522 2018 年

##### 2. 学会発表

Mizushima H. Importance of Clinical-Rehabilitation Database for Evaluation of treatment. 2018 Rehabilitation Research and Development Symposium 2018.10.24 Korea Abstract book P.63-74

Sato Y., Mizushima H., Ogata H., Mori K. ICD-11 Field trial in Japan -An evaluation of a line coding – WHO Family of International Classifications Network Annual Meeting 2018 Poster presentation, 2018.10.25 Korea Poster Booklet P46

Sato Y., Mizushima H., Ogata H., Mori K. ICD-11 Field trial in Japan -An evaluation of a line coding - WHO Family of International Classifications Network Annual Meeting 2018 Oral Presentation, 2018.10.26 Korea Poster Booklet P46

Mizushima H. and Ueno S. Data Utilization for RWD and Public Health using CDISC Standards. 2018 CDISC US Interchange. Bethesda, MD US; 10-11 October, 2018.

我が国における ICD-11 フィールドトライアル 診断用語コーディングにおけるゴールドスタンダードの解析. 佐藤洋子、水島洋、木村映善、西大明美、緒方裕光. 第 38 回医療情報学連合大会・第 19 回日本医療情報学会学術大会 2018 年 11 月

我が国における ICD-11 フィールドトライアル (診断用語コーディングの結果解析). 佐藤洋子、水島洋、緒方裕光. 第 77 回日本公衆衛生学会総会 2018 年 10 月 24 日

上野悟、佐藤洋子、水島洋. 疫学研究の推進に向けた CDISC 標準の利用. 第 77 回日本公衆衛生学会総会 ; 2018 年 10 月 ; 福島. P-0101-5.

上野悟、佐藤洋子、水島洋. 医療情報の利活用に向けた CDISC 標準の利用. 第 38 回医療情報学連合大会; 2018 年 11 月; 福岡. 4-B-3-1.

水島洋 ICD11 コーディングツールの分析と評価—ICD11 フィールドテストにおける経験を踏まえて 第 44 回日本診療情報管理学会学術大会 2018.9.20 新潟 日本診療情報管理学会誌 Vol.30 No.2 P.71-74 2018.8

我が国における ICD-11 フィールドトライアルの報告 (全体評価報告) .佐藤洋子、水島洋、緒方裕光、森桂. 第 44 回日本診療情報管理学会学術大会 2018 年 9 月 21 日

水島 洋、佐藤洋子、緒方裕光 ICD-11 の国内導入におけるコーディングの概要と検証 第 61 回日本糖尿病学会年次学術集会 カレントイシ

ユ 「WHO 国際疾病分類 ICD-11 の国際導入にむけて」 2018/05/25 東京

## H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし

図1 保健医療科学におけるICD特集号の表紙

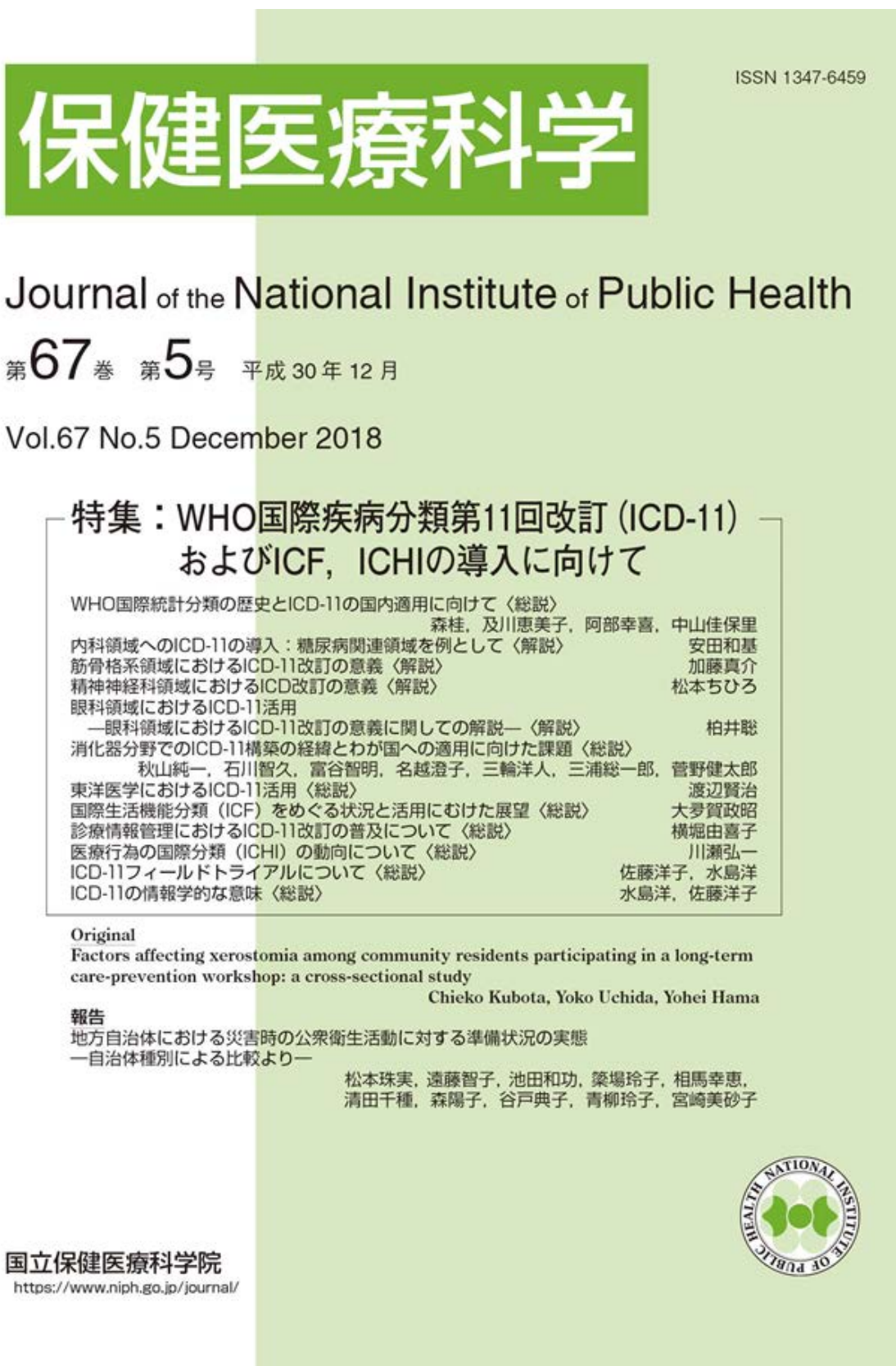


図2 ポータルサイトのトップページ ( <https://icd.niph.go.jp/> )

